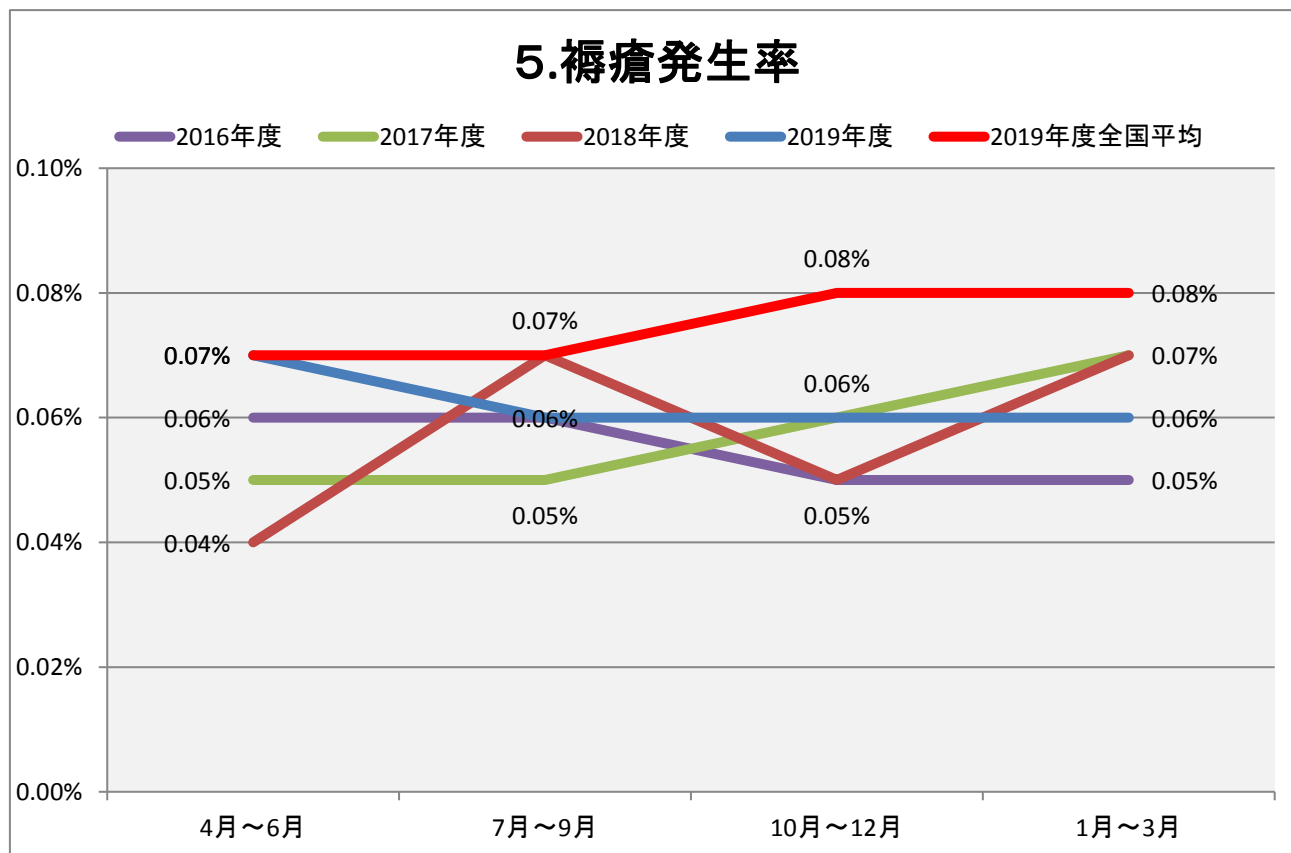


## 5.褥瘡発生率

### (1)調査結果



調査期間	4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月
2019年度	0.07%	0.06%	0.06%	0.06%
2018年度	0.04%	0.07%	0.05%	0.07%
2017年度	0.05%	0.05%	0.06%	0.07%
2016年度	0.06%	0.06%	0.05%	0.05%
2019年度全国平均	0.07%	0.07%	0.08%	0.08%

(2) 指標の説明 褥瘡は、看護ケアの質評価の重要な指標としてとらえられています。褥瘡は、患者さんのQOL(生活の質)の低下をきたすとともに、治癒が長期に及ぶことにより、結果的に入院日数の長期化や医療費の増大にもつながります。

(3) 定義 分子: d2(真皮までの損傷)以上の院内新規褥瘡発生患者数  
分母: 同日入退院患者または褥瘡持込患者または調査月間以前の院内新規褥瘡発生患者を除く入院患者延べ数

※褥瘡の深さ d0: 皮膚損傷・発赤なし  
d1: 持続する発赤  
d2: 真皮までの損傷  
D3: 皮下組織までの損傷  
D4: 皮下組織をこえる損傷  
D5: 関節腔、体腔に至る損傷  
DU: 深さ判定が不能の場合